

プラスチック製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	19～ 20	印刷機の版替え作業中にシリンダーを滑らせてインキバットに落としてしまい、慌てて再度シリンダーをチャッキングしようとした際、右手をフランジの中に入れた状態でチャッキング作業をしてしまい、右手の中指と人差し指をシリンダーとチャッキングコーンの間に挟み負傷した。	19	166	7	100～ 299
2017	1	15～ 16	第1生産棟調合室において、一斗缶上部をV字カッターで開口させ、内部洗浄を行っていた際、手元を滑らせてしまい、缶の切り口部分で右手親指甲部を切傷した。	24	521	8	50～ 99
2017	1	15～ 16	自動包装機のタイミングベルトが外れてしまったので、最初は手作業でベルトを押し込むように取り付けようとしていたが、中々取り付けできなかったため、手動運転させベルトを取り付けようとした際に、右手人差し指の先端を巻き込まれてしまった。	31	169	7	50～ 99
2017	1	10～ 11	第三工場より第一工場へイスを取りに行くために廊下に出た際に、廊下に立てかけてあったダンボールが倒れて、その上に乗った際に、滑って転び左手親指と顔面を床にぶつけた。	50	417	2	100～ 299
2017	1	9～ 10	工場内作業所において、製品を積みあげていた時に、製品を置く際の衝撃で肘を痛めた。	54	611	19	10～ 29
2017	1	10～ 11	工場内において切断機で塩ビ管を切断中、誤って右手の甲が切断機の刃に接触した。	45	169	8	1～9
2017	1	8～9	事業場敷地内において駐車場から事業場へ徒歩で移動している際	31	719	2	50～

			に、地面が凍結していた所を通ったところ、転倒して腰を打った。				99
2017	1	14～ 15	現場にて、発砲後の原板を高さ1mほどの金属製の枠付き台車にのせて、運搬する作業中、製品が目の高さまで搭載し前方が見えにくい状態だった為、前方から原料を運搬するフォークリフトにぶつかり台車の取手で胸部を強打し負傷した。	41	222	6	30～ 49
2017	1	13～ 14	当社事業場内において、原料を機械に加える作業中、踏み台（30cm程）に乗って原料を入れて降りようとした際、足を踏み外した。	38	379	1	10～ 29
2017	1	19～ 20	工場内の製造機械で製品を生産中、製品のフィルムが製造機械の巻き取り部で正常に巻きつかず、それを直そうと手で製品のフィルムを巻き付けようとしたところ、左前腕部が製品と共に巻きこまれてしまい、左前腕部と左手首を骨折してしまった。	47	163	7	50～ 99
2017	1	16～ 17	工場内にて、工程へ補給する部品が急ぎで必要となったため、1階へ続かせん階段の1階付近で足を踏み外し転倒し、数段を前向きに落下した。その際、1階階段下に準備してあった台車の柄の部分に眉間をぶつけ、同時に左膝を強打し、負傷した。	59	413	1	50～ 99
2017	1	10～ 11	靴底とアッパーを接着させる為に靴底を軍手をはめて、グラインダーで削っていた時に、回転している先端グリルに右手の中指が巻き込まれた。	24	153	7	30～ 49
2017	1	11～ 12	FRP（ガラス繊維強化プラスチック）製造ライン内に設置のステンレス槽の汚泥除去の為、槽本体を外して移動させる際、バランスを崩して槽が転倒し、倒れた槽と架台に右腕を挟まれて、前腕尺骨を骨折した。	35	391	6	50～ 99
2017	1	9～ 10	プラスチック袋の製造工程で、製袋機端から排出される袋を揃え纏める作業中、誤って左手中指がギロチン刃に触れ、先端を切傷した。	50	169	8	10～ 29
		14～	作業場で、両手でボタンを押して機械が作動する単発エアプレス				50～

2017	1	15	機に製品をセットした際、ボタンが肘に当たり、機械が作動してしまい、指先をプレスし負傷した。	45	154	7	99
2017	1	11~ 12	労働者派遣先にて、プラスチック射出成形機操作を終え、左手でカッターナイフを使ってパージ作業を行っていた際、機械の警報音が鳴ったことに驚き、慌てて作業を行ったところ、誤って右手示指にカッターの刃が接触し、第一関節から付け根にかけて切創を負った。	53	364	8	10~ 29
2017	1	16~ 17	現場事務所で指示を受けた作業者が、製品を取ってバックで走行中（5km位）のフォークリフトに気付かず、振り向いた時にフォークリフトと接触し、前輪に右足先を挟まれた。	22	222	7	100 ~ 299
2017	1	17~ 18	当社工場内に於いて、引き戸式鉄製扉の取っ手を右手で持ち、扉を引いて閉めていたところ右手が滑り、取っ手から手が離れ、その勢いで閉まった扉の間に右手小指を挟み負傷した。	52	419	7	10~ 29
2017	1	23~ 24	工場内の片づけ作業のため歩行していたところ、その上ではしごを登っている人が誤って手を滑らせて落ちてきた。その際に、その人の体が頭に当たり、地面に倒れてけがをした。	48	911	90	50~ 99
2017	2	14~15	当社製袋工場内で、外袋を製造する作業工程において、ポリエチレンチューブを製袋機の送り出しローラーにセットする。本来SERVOスイッチをOFF状態（安全装置が働く）にしハンドルを回しローラーを回転させ手動でセット出来るところ、スイッチをON（安全装置解除）の状態でもハンドルを回そうとしたが回らず、JOGスイッチ（前後に自動でローラーをゆっくり回転させる）を押しセットしようとした為に、チューブと一緒に手を挟み込み右手を負傷した。	46	169	7	30~ 49
2017	2	10~11	工場内印刷工場にて、印刷作業用シルク版セッティング作業中に、位置出し用ストッパーの貼り替え等を行っていた。当該作業の際、位置決め用のストッパーを両面テープで土台に貼り付ける為、調整貼り替え時には剥がす道具としてカッター状の刃を使用して行う	48	364	8	30~ 49

			が、剥がし作業時に刃先が滑り、ストッパーを押さえていた左手の甲に向かって刃先が流れ、挫創の状態となった。				
2017	2	7~8	工場内成形2係にて、エアバルブのエア漏れが発生していた為、高さの低い踏み台に登りエアホースの接続口を抜こうとした際に、バランスを崩して踏み台より転倒し、床に頭をぶつけて後頭部を13針縫う大怪我を負ったものである。	58	371	1	100 ~ 299
2017	2	15~16	本社作業所にてアイライナー容器のバネを圧縮作業中、容器がずれたため元に戻す際に誤って圧縮機に左手小指を挟まれてしまった。爪半分を損傷（はがれ）、激痛のため身動きがとれず、現認者に至急病院へ搬送してもらった。	49	363	7	10~ 29
2017	2	14~15	特焔炉の炉蓋入替作業中にオペレーターがホイストのワイヤーが切れている様に見え、居合わせた被災者と一緒にワイヤーの状態を視認確認する為、原料ヤードの隔壁の上を歩いていたところ、バランスを崩し1.8m下の床面に飛び降りた。その際に転倒して左側の手首、膝、顔面を打ち受傷した。	54	419	1	1000 ~ 9999
2017	2	8~9	第二倉庫にてプラスチック廃材をプレスして針金で結束する機械をリモコン操作をしている時に、針金が出てくる穴の中の異物を除去しようと、左手を入れたところ右手で持っていたリモコンのプレス作動ボタンを誤って押ししまい左手がプレスに挟まれ骨折した。	25	169	7	1~9
2017	2	21~22	第2プレス工程（製品解体側）で、2人1組で作業中、建材の上のビニールをはがし、ビニールを左手に持ったまま建材を運び、建材を置いた後に歩行している最中に、左手に持ったままであったビニールを自ら踏んで、後ろに転倒し、左肘と左手を地面に強打してしまった。	44	417	2	50~ 99
2017	2	8~9	第2工場西側シャッター付近で製品搬送作業中にフォークリフトに製品を乗せてバックしながら曲がって外に出たところ、第3工場へ向かっていた被災者と接触し右足を負傷させた。	65	222	6	30~ 49
			事業所内において4号機スクリーフィーダー（タンクから降りて				

2017	2	18~19	きた原料を加工機に供給する装置) のホッパー (受け皿) に残った原料を右手でかき集めて落とす際、スクリュウまで右手を入れてしまい右手人差し指を負傷したものである。	25	169	7	10~ 29
2017	2	9~10	工場内出荷場で不足製品の出荷準備をしていた。製品 (ウレタンスポンジ) はプラスチック箱 (55×36×15) に入れてあり積み重ねて置いてある。必要な製品は下段にあった為、上の箱を横の箱の上に通常と違う置き方をした。しゃがんで製品を取り出していた時、横に置いた箱が崩れ、頭、右首、左肩を打撲、切傷した。	39	611	5	10~ 29
2017	2	9~10	当社工場にて、高さ1.0mの方々の上に置いてあった治具 (連結板重量12kg) を床に置いてあるパレットへ載せ替える作業を行っていた。治具を1人で持ち上げパレットへ置こうとした際腰を痛めた。	53	921	19	100 ~ 299
2017	2	13~14	本社成形工場内にて、成形機の調整作業中、成形機内にある円柱に乗って作業し降りようとしたところ、床が濡れていたため、左足から着地した際に滑り、足首を捻り、負傷した。	20	169	2	50~ 99
2017	2	16~17	工場内の機械作業で、プラスチック製品を金型から取り出す作業をしていて、金型に指の先を当てて、切った。爪をかなり長く伸ばしていたのと、近くの作業員と、おしゃべりしながらの作業で集中した作業が欠けていた。前日も、危ないから、おしゃべりしない様に強く注意した。	21	169	8	10~ 29
2017	2	19~20	当社工場内にて、金型置場の金型が、台木 (鉄アングル) 上で位置がずれていると感じたので金型 (約150kg) を動かそうとした時、金型が台木から外れて落下し、当人の右環指を金型と床とで挟まれた。	43	521	7	10~ 29
2017	2	15~16	床にパレットが落ちていて足が滑ってミシンの荷物を載せる台の角で胸を強打して怪我をした。タンブラーしたのち、紙袋に詰める紙袋を所定の位置に持って置こうとしていた時である。	55	413	2	—
			金型倉庫内で金型収納ラックのスライド棚を引き出す際、勢いよく				100

2017	2	10~11	引き出したため、置いていた金型が滑って移動して、棚のへりに添えていた右手に当たり、右手人差し指を負傷した。	20	521	4	~ 299
2017	2	14~15	4段式脚立を使用し、大型浄化槽の組立作業中、脚立がぐらついたので3段目より飛び降りた際、右足の踵を亀裂骨折した。	65	371	3	10~ 29
2017	2	21~22	出張中、懇親会終了後、車に乗り合わせてホテルに戻るために、懇親会会場の駐車場に徒歩で移動中、側溝で足を踏み外し転倒し、左腕を強く打った。	35	417	2	50~ 99
2017	2	3~4	当社工場内において、1号機ペレタイザーのローラーの横にあった樹脂の塊をはさみで取り除こうとしたところ、はさみがローラーに巻き込まれ、引っ張られ小指が、はさみとガイドに挟まれ右手小指の第一関節と指先の間あたりを切断した。安全教育また平日頃よりペレタイザーを扱う時は、機械を停止し、電源もオフにすることを徹底していたが、焦って機械を停止しないまま上記作業を行った。	26	169	7	10~ 29
2017	3	14~15	当社敷地内において、プラスチック製品成型用金型の移動作業中、ハンドリフトの上にゴム製の台（60cm×15cm、重量10kg）2個乗せ、その上に金型を乗せてトラックの前まで移動した。金型をフォークリフトで吊り上げて運んで行ったあと、ゴム製の台を片付けるため、ハンドリフトから持ち上げてそのまま後ろへ下がろうとした際、ハンドリフトに左足がつまずき、後へ倒れ強打し、転倒しながらハンドリフトのハンドルで唇の上部も切り負傷した。	53	391	2	10~ 29
2017	3	16~17	当社インフレ成型工場内において、製品製造作業中、出来上がった製品を巻取機から取り出し、製品を包装後、パレットに移し替える際に製品の重さに耐えきれずに負傷した。尚、リフトは用意していたが使用せず、移動していた。	50	611	19	30~ 49
2017	3	9~10	プラスチック（容器）を製造中にノズルボディを冷やすホースから水濡れが発生したので、機械が稼働状態で水濡れを修理しようと手を入れ修理中に、ノズルボディが打ち込んできて手を挟む。	43	169	7	10~ 29

2017	3	14~15	工場内で作業中に、再生樹脂が硬化したカスがラインに落下したため、ライントラブルを防ぐために左手で樹脂カスを払い除けようとした。本来は機械を停止してから作業を行うのだが、あわてて行ったため機械を停止せずに行ったため、着用していた手袋が機械に巻き込まれ、左手中指を負傷した。	60	169	7	50~ 99
2017	3	14~15	第二工場で梱包作業の際、体勢を整えようとしたとき、床面に左膝を打ちつけた。	61	416	2	50~ 99
2017	3	8~9	射出成型工場内において、キャスター付き台車（縦600×横400×高さ130mm）に載せた空箱（縦335×横335×高さ240mm）3個を積み重ねたものを持ち上げ、置場に運ぼうと右足を踏み出したところ、空箱を載せていたキャスター付き台車に乗ってしまった。その際、右足を乗り上げたまま台車が前方に滑り、左膝を床に打ち付けた。	60	416	2	10~ 29
2017	3	16~17	派遣先工場内にて、不良品等のプラスチック製品を粉碎し、再利用するための前工程として、帯縄を使用して切断していた。回転する鋸の刃に製品が接触した際に反発が生まれ、その反発で製品を押し返していた手元がずれ、左手中指を巻き込まれて負傷した。	55	169	7	10~ 29
2017	3	11~12	工場内にて、立てた状態の原反を原反台にセットするため、原反を横に倒す作業をしていた。その際に本来の作業手順を行わず、空のパレットに足を掛けていたため、パレットが動いてしまい右足首を負傷した。	25	379	3	50~ 99
2017	3	10~11	空になったダンボールを解体する作業中に、ダンボールのビニールテープで封印してある面を開けるために、ビニールテープを外さず手の甲で強くたたきつけたとき、打ちどころが悪く、右手の甲の痛みを伴う腫れが出てしまった。	52	611	3	10~ 29
2017	3	13~14	作業中、機械の起動ボタンを押したのと同時に背後から声をかけられ、左に振り向いた時に右手人差し指が機械に挟まれた。なお、ボタンを押してからプレスが下りるまでは3秒である。	42		7	10~ 29

2017	3	21~22	当社工場内にて製品梱包作業中に、梱包した製品をパレットに積もうとした際、誤ってパレットとパレットの間に足を引っ掛け転倒し、左膝部を強打した。	70	379	2	10~ 29
2017	3	10~11	ロックン10号機の型替えを2名の共同作業で行っている際、型取付ゲージの調整を相方が指導に来たので本人は1歩さがって作業場所を譲ろうとした時、足場のない部分よりピット内（高さ約2.7メートル）に落下した。	27	414	1	50~ 99
2017	3	14~15	会社工場内で製品を塗装後、その製品を箱に詰め、炉の上段にその箱を入れる際、箱が滑って落ちそうになったため、箱を支えようとしてバランスを崩し、足首を捻った。	49	611	4	10~ 29
2017	3	15~16	工場内で通常作業中、半製品（丸いロール状）にカバーをかける作業中、引っ張り過ぎて足の上に乗せてしまった。その際に安全靴を使用していたが、左足甲を痛める。	31	611	4	100 ~ 299
2017	3	17~18	2Fクリーンルーム内にて、大型検査機による検査作業を行っていたとき、膝をついて作業することがあり、その際に擦り傷を負ってしまった。ただの擦り傷だと思っていたが、傷口から菌が入り、炎症を起こした。	37	417	3	100 ~ 299
2017	3	19~20	被災労働者は、成形作業を行っていた際、成形機表側の粉碎機の中に手を入れランナーを引っ張って取り除いていた。しかし、一度ではうまく取り除けず残っていた為、さらに奥まで手を入れ取り除こうとした時、左手中指が粉碎機の刃に巻き込まれ負傷した。	19	162	7	50~ 99
2017	4	16~17	T/Fライン芯材挿入機の内部で芯材が樹脂サッシに正しく入るか、監視業務を行う為、右手で柱につかまり、奥の稼働部を覗き込んでいたところ芯材段取ユニットが動きだし、柱と段取ユニットに腕が挟まれ被災した。	22	169	7	500 ~ 999
2017	4	11~12	当社敷地内、本社工場押し出し部門の南通路側シャッター前において、床に落ちた樹脂くずを箒で掃く清掃作業中、積荷作業のため	40	222	6	50~ 99

			バック移動をしていたフォークリフトと左足首が接触した。				
2017	4	14～ 15	食品容器を製造する工場にて、製品を入れる為のダンボール組み立て作業中、段ボールを束ねていたビニール紐を外しゴミが出た為、作業していた場所の向かい側にあったゴミ箱（約2～3m）へ捨てに行き、戻る途中に通路で右足を捻った。	21	417	19	100 ～ 299
2017	4	7～8	ベルトコンベア上の製品の移動作業中、安全確認を怠り、急に通路側に振り向くように飛び出し、通行中のフォークリフトに衝突した。	41	222	6	50～ 99
2017	4	10～ 11	工場内加工室で製袋作業中、製袋機のポリオレフィンフィルムを送るためのゴム製ローラーに付着した汚れを取ろうとして右手を伸ばしたとき、機械を停止しないまま作業を行ったため、ローラーとローラーの間に右手小指を挟まれた。	44	163	7	30～ 49
2017	4	12～ 13	3号機工程に設置されている循環ファンベルトにバタツキがあったため、ベルトカバーを外した状態でベルトの点検、調整をしながら試運転を行った。試運転時にバタツキが発生したため運転を停止した。回転が止まる寸前の惰性回転中のベルトとプーリーの間に手を出し挟まれた。	43	169	7	50～ 99
2017	4	9～ 10	工場内で粉碎作業中に、粉碎機の手を入れてはいけない部分に不注意で指先を入れてしまい、左手の中指の先を損傷した。	32	162	7	10～ 29
2017	4	18～ 19	射出成形工場で、再利用するために樹脂を粉碎する機械（粉碎機）内に持っていた離型剤（ステンレス製スプレー缶）を手を滑らせ、落としてしまった。その際にスプレー缶が粉碎機内で破裂、破砕され、跳ね返った破片で手を負傷した。	35	162	4	30～ 49
2017	4	13～ 14	第3工場成形工程において成形後の製品（クロスウェーブ）のバリ取り、検査後に積み重ね作業の実施中、高い位置の積み重ねがズレ、その修正をする為に裏側に回り高い位置のズレをジャンプして直そうとし、着地時に右膝を痛めた。高い位置への積み重ねの為に4段の階段式作業台は常備してあるが、作業者の方は利用せず作	51	416	3	50～ 99

			業を行ってしまった。				
2017	4	11~ 12	工業所別荘の畑のにて、下の畑と上畑の段差（擁壁）の下準備中に木製パレットを除けていた時、パレットがバラバラに壊れた物が出て来て、除けた物に古釘が残っていたのに気づかず、右足の靴を通りこして古釘が右足踵近くにささった。（イノシシに畑の土手を壊されて、それを防ぐために作業をしていた）	22	521	9	1~9
2017	4	13~ 14	バックミラーステー（ミラー取付支柱パイプ）加工ラインにて手動ベンダー機（1980年製）を使用してパイプの曲げ作業を行っていた。パイプをベンダー機にセットする際、金型内に右手を入れてセットを行っていた。その際に突然ベンダー機のパイプ固定部分が動き、金型にセットしたパイプとベンダー機のパイプ固定部分との間に右手を挟まれた。近隣の作業者が本人の知らせを受けベンダー機の解除を行った。（右手が挟まれていたのは30秒ほどである。）	29	159	7	100 ~ 299
2017	4	8~9	工場内で機械の清掃をしている時に機械を動かしながら、体を機械の中に入れて清掃し、頭を挟まれてしまった。	38	169	7	10~ 29
2017	4	9~ 10	第3工場3号機付近で2日後の工程準備をしようと前工程の片付けをしていた。空ケースの載ったパレットをフォークリフトが使える位置に角度を変えようとしゃがんで横にずらしている時、腰に違和感があった。痛みもあつたが動けたので準備を終えて帰宅したところ、足も痛みだした。	48	379	19	30~ 49
2017	4	10~ 11	本社工場内にて、担当していた成形品があと少しで生産完了となるため、成形機の原料残量が不足していないか確認する必要があつたが、成形機の原料投入口には、蓋に固定される形で吸引式原料供給装置が載せられていた。本来であれば蓋および原料供給装置を成形機から取り外してから、原料の残量を確認するべきところではあつたが、作業が面倒だったので、原料投入口の縁に左手をかけ、載せられていた供給装置を蓋ごと右手で押し上げる事により、投入	26		4	1~9

			口と蓋の間に隙間を生みだし、残量の確認をする事を目論み実行したところ、右手が滑ってしまい原料供給装置および投入口の蓋が左手指先に落下し負傷した。				
2017	4	14～ 15	工場2Fのかんな（丸ノコのRカッター）で材料の角を取る作業中、長さ40cm幅6cm程の固いジュラコンを両手で押さえながら先の丸くなったところを削る時に押さええていて右手が滑り、回転しているかんな（Rカッター）の刃に親指があたり、右手親指の爪の下辺りまで欠損した。	51	131	8	30～ 49
2017	4	14～ 15	当社工場内にてバラシ作業中、製品を持っていたため足元が見えず、台車につまずき転倒し左膝を負傷した。	38	416	2	30～ 49
2017	4	10～ 11	会社でコンベアをすぐに使用出来るように移動しようとしていて、バランスを崩し転倒してしまい、コンベアで右足を負傷した。	64	224	2	10～ 29
2017	5	9～ 10	組立第二工場内にある3V4G自動機に成形単品を供給するため、単品が入っているバケットを持って踏み台に上った。単品供給を終え、空バケットを持ったまま踏み台を降りたところ、左足ふくらはぎに強い痛みを感じ、歩くことが出来なくなった。	45	371	19	300 ～ 499
2017	5	14～ 15	成形現場で金型を成形機にのせようと右手で金型を押さえていた時、ノズルの先端に付いていた樹脂の塊が取れた為、ノズルの中に溜まっていた高温の樹脂が吹き出し、右手の中指・薬指・小指を火傷をした。	37	529	11	50～ 99
2017	5	14～ 15	工場内で1m四方の受けの中に材料を入れる仕事をしていて、すぐ横に木のパレット5枚（75cm）があり、その上に材料をのせて受けの中に入れていた。たまたま樹脂が柔らかかったのでぐらりとしてふらついて落ちて骨折（ひじ、手首）した。	61	371	1	1～9
2017	5	20～ 21	工場内で、成形3号機にて、検品及び梱包作業をしている時、出来上がった製品を、取り手作業台から取る際に作業台の仕切りに左腕をぶつける。その時に左前腕部を損傷したと思われる。	44		3	50～ 99

2017	5	7~8	夜勤中、成形機のメンテナンス中のトラブルにより、熱風で顔面、左腕に火傷を負い救急搬送される。	42		11	10~ 29
2017	5	20~ 21	ポリエチレンチューブを製造時、巻き取った原反を巻取機から外すため、ハンドリフトの昇降レバーを操作した際に、リフトの後ろにあった塩ビ管とレバーの間に指を挟み、左手中指を負傷した。通常ハンドリフトのレバーは、リフト正面で操作しているが、事故の際は塩ビ管が多数あり正面で操作出来ず、塩ビ管を動かさず、斜め右方向より左手だけで操作したために事故が起きた。	40	229	7	10~ 29
2017	5	19~ 20	弊社工場内において、プラスチック製電柱キャップの成形作業を行っていた際に取り出しの為ドアを開き、製品を取り出そうとした時、金型の突き出しピンと本体の金型に右手指を挟まれた。	37		7	10~ 29
2017	5	21~ 22	プラスチックフィルム製造過程で、延伸切れトラブルが連続して発生した。トラブルを解消し通紙作業に入った際、低速回転している最終ロールとピンチロールの間に左手人差し指が巻き込まれ、急いで自力にて引き抜いた際、指先の肉が引きちぎれた。	47	169	7	50~ 99
2017	5	15~ 16	出張先の工場内において、生産立会いのため工場を見学中にめまいを起こし、後ろ向きに尻もちをつくように倒れ、そのまま左側に倒れ込み、左前頭部を強打した。	59	911	2	10~ 29
2017	5	11~ 12	当社工場内溶接エリアの鋸盤を使用し、一人で溶接組み立てに必要な塩ビパイプを切断中に、塩ビパイプが勢いよく跳ねたため、回転中の鋸刃に手が接触し負傷した。	32	131	8	50~ 99
2017	5	16~ 17	ブロー1号機で製品重量を調整する作業をしていた。右手にハンマー、左手に長さ20cmの鉄棒を持ち、ボルトの頭を叩きながら重量を調整していたときに金型が下りてきて、右手人差し指を挟んだ。	25	169	7	30~ 49
2017	5	14~ 15	廃材を処理する作業をしている時、右手で物を取ろうとして回転している鋸刃に左手甲を持っていった為に逆手になり、左母指部分を切った。	55	131	8	10~ 29

2017	5	2～3	3号機へ原料シートを設置する際、本来であれば原料シートの芯に芯棒を通し、その芯棒を使って原料シートを横に倒すところ、芯棒を通さず、直接原料シートを横に倒そうとした。原料シートを横に倒した際に原料シートと床の間に右手が挟まり、怪我をってしまった。	52	529	5	30～ 49
2017	5	21～ 22	工場内作業場にて、被災者が、同僚と成型機に原反のシートを手で押さえて入れ込む作業中に手を入れ込み過ぎて、誤ってチェーンに左第二指の先を挟んで負傷した。	53	169	7	30～ 49
2017	5	2～3	工場横の通路で、リフトの運転を交替する際、先に降りてリフトが移動するのを待っていた時に、次の運転者が先に降りた本人との距離を見誤り、安全靴着用済みの左足甲をリフトで乗り越えられてしまった。	36	222	7	100 ～ 299
2017	5	13～ 14	工場内で押し出し機（プラスチック溶融装置）を操作中、異物除去用スクリーン交換を行う際に周りに付着した樹脂を取り除こうとして、40cm程の鉄製の踏み台の上へ足をかけたときに足元が滑り、踏み台の角で左足の脛を負傷する。	44	419	8	10～ 29
2017	5	9～ 10	当社工場において鋼材を研磨中に、右手に持ったディスクグラインダーで、誤って鋼材を押さえていた左手の親指を砥石がはねて当たり、腱を切った。	57	153	4	10～ 29
2017	5	7～8	構内通路にて、出勤時に自家用車を運転中、構内通路側面のガードレールへ追突して胸部を強打した。事故発生時、本人の記憶がなかったため、詳細は不明である。	50	231	18	300 ～ 499
2017	6	10～ 11	残反整理をしていた所に、残反（原反）が転がってきて原反と原反の間に挟まってしまった。	64	529	7	10～ 29
2017	6	19～ 20	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたところで板が滑り、転倒して右膝を強打した。	39	522	2	10～ 29

2017	6	11～ 12	<p>①会社工場内において、原反ロールの交換を2人で作業をしていた。左側に被災者、右側に共同作業で、原反ロール中心の紙管に原反ロールを吊る為の棒を装着し、両側から固定するアダプター的な物の取付中に、棒が動かないように共同作業者に押し付けてもらった。押しが弱いので、共同作業者に「押して」と指示をしたが、逆に引っ張られてしまい、固定するため押さえていた被災者の親指が反対側に曲がってしまった。</p> <p>②会社工場内において、自動成型機の操作中に、荷物を運んでいるその他の従業員が被災者の後ろを通った時に、材料の角が背中に当たり、その痛みで動いた際に首の右側を捻ってしまった。</p>	45	921	6	1～9
2017	6	16～ 17	<p>会社工場内のマニシングセンターにて、プラスチック製品を切削加工中、製品が加工中に飛ばないように手で押さえていたところ、手の位置が刃物の進路上にあり、手を離すのが遅れてしまい、刃物に右手が巻き込まれてしまった。</p>	23	169	8	10～ 29
2017	6	20～ 21	<p>梱包作業工程で、残業時間に作業中、プラスチック製品を専用通函に梱包中、PPバンドで縛り、そのPPバンドをカッターでカットする際、左手で押さえていた薬指に当たり、腱を断裂してしまった。</p> <p>また、通常はPPバンドで結束するものではなく、それ用のストッパーがあるのだが、たまたま今回はその専用ストッパーが無かった為、PPバンドで結束してしまった。次回からは、通常のストッパーで製品を押さえるようにする事で、再発防止に努めたいと考えている。</p>	40	364	8	30～ 49
2017	6	8～9	<p>当社工場内において、不良品をコンベアで粉碎しようと、コンベア投入口まで不良品を両手で持って歩いている途中、成形機裏側のエア配管に足が引っ掛かって転倒し、左膝を負傷した。</p>	62	419	2	30～ 49
2017	6	14～ 15	<p>第1現場1号棟北側の不良品切断機で、PS栈木の不良品を細断する作業を行っていたところ、製品を左手でカット位置まで送る際に回転する刃物に接触してしまい、左手甲（人差し指と中指）付近を負</p>	53	169	8	30～ 49

			傷した。				
2017	6	18～ 19	工場内の組立部屋にて、圧入及び自動機検査の作業を実施していたところ、突然圧入機が動作し、下治具と上治具の間に右手人差し指を挟まれてしまった。	50	169	7	10～ 29
2017	6	14～ 15	当社工場内で、原料フレコン（ポリフィルムの原料が入っている重量1t）の底に取り付けられている紐を引っ張りながら袋の底をゆるめ、原料フレコンを揺すりながら原料をタンク内に落とし入れる作業中、梯子をはめ込むために少し出ているタンク縁に胸をぶつけてしまった。胸に痛みはあったがそのまま作業を続けた。その後も出社はしていたが、胸に鈍痛があり力が入らないので、軽作業をしていた。痛みが続き力作業ができないので、診察を受けたところ、肋骨が折れていた。	67	391	3	10～ 29
2017	6	18～ 19	当社工場内において、自動車用部品のプラスチック製品（長さ50cm×幅13cm）の成形加工のため、5号プレス機で抜き加工作業中、誤って左手をプレス金型台に入れてしまい、親指を除く4指を骨折したものである。	59	154	7	10～ 29
2017	6	5～6	当社工場にて、成形機ポッパ内原料確認をする為に階段を上ろうとしたところ、一段目を踏み外して転倒し、右足首を捻挫した。	44	413	2	10～ 29
2017	6	14～ 15	本社工場内、真空成型機へ金型を固定するために設置スペースへ上半身を入れた時、機械上部の「プラグ」という押さえ装置が下りてきて、頭部から肩の一部までを挟まれた。プラグで首や肩を圧迫されて鎖骨を骨折し、首の前方および後方がミミズ腫れになり、声が出にくくなった。	57	169	7	10～ 29
2017	6	21～ 22	当社シート第3工場5号機にて、機械メンテナンスの点検作業中、配電盤が回転している冷却ファンに右手を近付け過ぎた為、右人差し指をぶつけ負傷した。	30	169	3	100 ～ 299
2017	6	9～	工場仕上課パネル組立ラインで作業中、パレットの上に置かれた製品ケースを降ろそうとした時、右足を踏み外し、右足副靭帯を損傷	38	379	3	30～

		10	した。					49
2017	6	13~14	型メンテ場で型サン作業中、気温・温度が高かったため気分が悪くなり、歩行不能となった。	41	715		11	50~99
2017	6	8~9	プラスチック成形機の検査台の上で検査を行った後、成形の状態を確認する為、成形機のモニター側へ移動しようとした時、配管部に左足が入り込み、捻じれながら転倒し、左脛を骨折した。	60	417		2	50~99
2017	7	13~14	当該乗務員は夜行高速バスの運行を終え、担当車両を定置場に駐車後、バスから自分の荷物を降ろすため、バス前方に自家用車を止めバスから荷物を降ろしていた。同僚の乗務員も同じく荷物を降ろすため、当該乗務員の後方に自家用車を停車させた。同僚はギヤをパーキングに入れたと思い込みドアを開けたところ警告音となり、あわてた同僚はブレーキとアクセルを間違えて踏み車が前進。車と車の間に当該乗務員が挟まれ負傷したものである。	55	417		2	1~9
2017	7	10~11	工場2階で金型交換の原料抜き取り作業において、約50cmの高さの踏み台に上がる時、誤ってバランスを崩し背中から倒れて、頭からお尻あたりを打撲した。	27	371		1	10~29
2017	7	11~12	整備工場内でコンバイン修理のためコンバインのキャタピラーを取り出す際に右手首をひねった。	19	169		7	30~49
2017	7	22~23	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	28	222		7	30~49
2017	7	10~11	ビニールで梱包されたダンプラシートを加工するために、開封の際にカッターの刃をダンプラシートの溝にしっかりと入れていなかったため、刃がずれてしまい、右手中指を切ってしまった。	32	364		7	50~99
2017	7	21~22	第1成型に於いて、端尺の原反を隣の原反置場に移動するため、2人で鉄芯の両端を持ち、持ち上げた際、腰を痛めた。	47	529		19	100~299

2017	7	7~8	被災者は長尺ブロックの反転作業を行っていた。両手押しSWで反転をはじめたところ、台に別のブロックがあり当たりそうになったため、SWから手を放した。本来であれば反転が停止するが反転機が停まらず自重で反転した。被災者は咄嗟に手を出し支えようとしたが、支えきれずに2つのブロックのエッジで左手を挟んだ。被災後、左手小指の縫合を実施していたが、縫合部が壊死し皮フ移植が必要になった。	19	169	7	300 ~ 499
2017	7	8~9	完成品を入れる空コンテナを機械にセット（供給）していた時。一度、空コンテナを機械に供給し次の空コンテナを取ろうとし、振り向き様に（周囲の確認を怠っていた）リーチフォークと鉢合わせになった。（この時、安全靴を忘れたため、スニーカーで仕事をしていた。）その際、リーチフォークリフトの左前輪に左足小指部分を踏まれ、さらに前輪アームの突起と右足の脛を接触させたため、受傷。	62	222	3	100 ~ 299
2017	7	5~6	成形室内で作業中に、弊社社員と派遣社員において業務のことで口論となった。その後、弊社社員が派遣社員へ退社するよう指示し、肩のあたりを押して促した。その際に、バランスを崩し搬送設備（デクスター）付近に腕をぶつけた。	29	169	3	50~ 99
2017	7	0~1	右記の印刷機のロール部分の略図である。上部の樹脂板貼ってある圧胴ロールの版に汚れがあったため排除しようと、ロールカバーを外して、ウェスで拭いたところ、ウェスの先端が版胴とアニロックスの間に巻き込まれ、右手中指先端部の肉が削がれてしまったもの。（通常はロールの回転を、止めて掃除をするルールを無視して行ったため怪我に至ったものである）	47	166	7	30~ 49
			当社第二工場金型組立場で、発泡スチロール成形用の金型（上段15kg、下段20kg）を電動チェーンブロックで吊り上げて、オス型とメス型をはずす際に、誤って金型と台車の間で右手人差指を挟み、負傷した。側にいた現認者の私が包帯を巻いて応急処置を施				

2017	7	11~12	し、すぐに救急車を呼んで治療を受けた。被災原因は、金型を載せた台車の向きが通常と違っていたために、（台車の向きがちゃんとしていれば）チェーンブロックで吊り上げた時にスムーズにはずれはずの金型がはずれにくく、そのためにあわてて右手を金型の底の部分に入れてしまったと思われる。その時に金型が突然はずれたので、台車との間に右手人差指を挟み、負傷したのではないかと推定される。	29	612	4	10~ 29
2017	7	23~24	原料倉庫場にて、ラック三段目すきまより原料名を調べようとしたところ、二段目パレット上の原料上に乗った。ラック上にパレットが少ししか片方がかかっていたため自分の体重もかかりパレットが傾き、被災者が下におちた。	22	379	1	30~ 49
2017	7	11~12	ラベラーマシンから排出されるボトルがマシン搬出口に詰まったため、咄嗟的にボトルを外そうと左手をカバーの中に入れてしまい、ボトル搬送用の羽根に左薬指の第一関節先をはさまれてしまった。	37	169	7	50~ 99
2017	7	14~15	2人で②の材料（略図参照）を設置する際当事者が後ろ向きに下がるようになってしまい、足元に置いてあった材料①に足をとられてしまい後ろ向きにそのまま倒れてしまった。倒れた際、別の材料を置いてあった木製のパレットの端に後頭部をぶつけてしまった。	67	529	2	10~ 29
2017	7	9~10	工場内にある自動スタンプ機で作業をしている時にスタンプ機より金具が外れて右手の上に落下した。	43	169	4	10~ 29
2017	7	11~12	掃除用の棒で機械を掃除中、ブラインダーに手を巻き込まれ左手の小指を挟まれた。診断では捻挫と関節脱臼。	47	153	7	50~ 99
2017	7	8~9	切断機を使っているときに隙間に入ってしまった製品を取ろうとしたときにボタンを押してしまって指を挟まってしまった結果、打撲を負った。場所は本社工場である。	38	159	7	30~ 49
2017	7	15~16	作業室内において、利用者の方の創作活動の支援中に、突然利用者が前方より小走りに近づき、押されたために、後ろにあった机で背中を強打し、倒れたところにあった机の脚の部分でも、強打した。	67	391	1	10~ 29

2017	7	10~11	工場内の棚卸しで製品をリフトに積み移動する作業を同僚がしていて、後方を確認してからリフトをバックさせた時、後方を歩いて来た被災者の右足の上にリフトのタイヤが乗り上げて負傷した。	53	222	6	30~ 49
2017	7	8~9	第2工場の成形ライン7号機にて、製品検査・梱包中、成形カット機に付着したゴミを除去しようと、電源を切らずに作動中の成形カット機に誤って手を差し込んでしまい、刃物と接触し、右手人差指と親指の先端を切断してしまった。	45	169	7	30~ 49
2017	7	16~17	工場内でフォークリフトによる製品の移動中、運転手は後方を確認後、フォークリフトをバックしたところフレコンバックの脇から作業場を離れ後ろ向きに出てきた被災者にフォークリフトの後方部が接触したと思われる。被災者は接触時に腰を打ち、前につんのめってこけた時に右足首を捻挫したと思われる。フォークリフトは幅4mの通路で作業をしていたため速度は出ておらずバック音はしていた。作業場を離れていた理由は不明。	57	222	6	10~ 29
2017	7	16~17	工場内で業務用扇風機1台を設置し1名で自動車部品のバックボードを段ボール箱につめていた。急な気温上昇と暑さがキビシくなった事により作業中に熱中症になった。※当工場内、作業員全員には、特に作業場へ「水」等の持ち込みを指示し、体調の変化があれば「声出し」にて休憩を取ってもらっている。	66	715	11	30~ 49
2017	7	8~9	車で出勤し社屋へ歩いている途中、駐車場のアスファルトが剥がれていた場所のふちに足を乗せてしまい、足首をひねり左足を負傷した。	49	417	2	300 ~ 499
2017	7	22~ 23	ポリエチレンフィルム製造中、チューブ切れを起こしたため、再始動するための準備を引き取り装置に乗って行っていた。切れたチューブが足元に落ちていたものを片付ける時に誤って片足を踏み外したため後ろ側から落ちてしまった。	47	169	1	10~ 29
			会社構内の作業場にて、プラスチック原料を昇降盤で切断する作業				

2017	7	16～ 17	をしていた。原材料を左手で押さえながら作業し、原材料を取り除く際に、昇降盤に材が当たって跳ね返ってきたときに、誤って昇降盤の刃に左手示指・中指・環指が触れてしまい切断した。	64	131	8	10～ 29
2017	7	15～ 16	バルク搬送転換コンベアのチェーンとレールに摩耗粉があったため、清掃・給油を行おうと考え、強制的にチェーンを駆動させながら左手でチェーンを持ち上げ、右手人差し指に潤滑剤を染み込ませたウェスを巻き、清掃と給油をしていた。その際、レールの先端部まで行ってしまい、チェーンとレールの間に右手人差し指先端を挟んだ。	51	224	7	100 ～ 299
2017	7	15～ 16	倉庫棟内にて、製品検品を行う為、5段に積み上げられている製品コンテナ（L1200mm×W1200mm×H1200mm）を床上に平置きする作業を実施後、フォークリフトから降車しようとしたときに、左足首を床面（高さ400mm）でひねり、捻挫をした。	40	222	19	10～ 29
2017	7	8～9	機械の立ち上げ時に、前日に残った樹脂をたれ流して団子状になった物（樹脂温度約260℃）の処理中、右足に巻き付いて火傷した。	40	529	11	1～9
2017	7	16～ 17	ウェルネス事業部の出荷作業場で、空のダンボール箱を片付けているときに、パレットのダンボール置場の一番下のダンボールが、少し斜めに通路にはみ出ていたため、左足を引っ掛けて転倒し、左手首で体を支えることができず、顔面を床にぶつけ負傷した。	58	529	2	50～ 99
2017	7	15～ 16	本社工場内において、製造用機械（高さ2m）から梯子を使って降りようとしたとき、右手に工具を持っていたため、左手のみで降りようとし、梯子を掴み損ねて落下した。落下した際、背面を右側にあった機械で強打し、右側肋骨を3本骨折し、気胸を負った。	44	413	1	50～ 99
2017	7	12～ 13	塩化ビニルコンパウンドの製造ラインにおいて、原材料を計量し、ミキサーで安定剤の鉛化合物を原材料に混ぜて攪拌する作業をしている際、作業場の大気中に飛散した鉛成分が労働者の体内に取り込まれて蓄積され、鉛中毒の症状が出た。	58	514	12	10～ 29
			MS5号機にてマット生産時に、端末を持ったときに左手に「チ				

2017	7	1~2	クツ」と感じ、反射的に左手を放したときに落下し、左足の甲に当たり受傷した。安全靴を着用していたが、プロテクターの無い部分に当たり受傷した。	22	921	4	50~ 99
2017	7	15~ 16	成形機の段取作業中、コードが当該機械に引っ掛かっていることに気が付いた。そこで空箱の上に乗って手で除去しようとしたところ、空箱がひっくり返り、転倒して負傷した。	47	379	1	30~ 49
2017	7	14~ 15	6号シート製造機立ち上げ時、小径ロール表面に結露によって発生した水滴を発見した。発生場所は、シート端部から内側200mm程度の位置であった。規程ではエアガンで吹き飛ばすこととしていたが、早く生産を開始しようと、不織布でロール表面を拭き取ろうとした。その際、不織布がシートとロール間に巻き込まれ（引っ張られ）、その勢いで高温のシートに左手甲側の指が接触し、火傷した。	35	163	7	100 ~ 299
2017	7	6~7	工場棟において出勤し更衣室に向かうため、1階から2階へ階段を上っていたとき、途中の踊り場で転倒し、壁に背中を打ちつけた。少し痛みはあったが、着替えて仕事をしたところ、痛みがひどくなってきた。	64	413	2	100 ~ 299
2017	7	14~ 15	会社内において、金型移動作業中、金型（350×270×350）の上に乗る、他の金型を移動させようとしたときに右足を滑らせ、金型で右膝を強打し負傷した。	75	379	3	10~ 29
2017	7	14~ 15	製造部組立工場内で、コンベアラインのプレス機に位置決め治具を取付け調整を行っていた際に、治具の底に手を当てたままプレス機のスイッチを押してしまい、左手中指・左手人差指が挟まれた。	20	154	7	50~ 99
2017	7	10~ 11	本社工場内にて、FRP（強化プラスチック）板（1350×1500×30mm）をパネルソー上でカット作業中、位置合わせのため少し横に移動させたところ、手前へ傾き、そのままFRP板（約90kg）が落下し、底部が右足甲に当たり負傷した。	42	529	4	1~9

2017	7	9～ 10	ホイストのフックを上昇させているとき、フックが金型ラックの下部に引っ掛かり、かけていた金型が落下し、咄嗟に足を後方に引いたが間に合わず、安全靴の鋼板外の左足親指付根に当たり骨折した。	44	521	4	50～ 99
2017	7	20～ 21	HIPS製造部2号機巻取機で下巻仕様の製品の自動巻き付け作業中、満巻の巻軸を停止後、シートをカッターナイフで切り、紙管にテープで貼り付け、フットスイッチで巻軸を起動した。しかし、テープが剥がれたため左手を添えたところ、軍手の先から巻軸に巻き込まれて負傷した。	23	166	7	100 ～ 299
2017	7	10～ 11	押出機に部品を取り付けようとしたとき、積荷の2ヶ所にワイヤーを掛け、リフトの爪で持ち上げていたが、リフトの爪が柱の梁に当たったため、リフトの爪の位置を変えようと一度積荷を地面に下ろした。その際、積荷が安定しないのでA氏が支えていたが、下ろした拍子に積荷が倒れそうになったため、咄嗟に手を出してしまい、柱と積荷に手を挟まれ、左手薬指を複雑骨折した。	68	611	7	30～ 49
2017	7	18～ 19	通常作業中、足が滑って躓き、製袋機の回転体に左手を着いたところ、軍手が先に入って行き、手の甲まで回転中に挟まれた。	40	169	7	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	加工所加工機2号機で、原板台横のチェーンを外し、新品と交換作業中、加工機の電源を切っておらず、原板台のロールが稼働し、チェーン取付部分の歯車に右手小指が巻き込まれたため、慌てて正転から逆転に起動したが、大量の出血と痛みがあった。その際に、右手小指骨折、腱の断裂、皮膚損傷の怪我を負った。	46	121	7	1～9
2017	9	16～ 17	プラスチック製簡易食品容器製造工場、成形工場と出荷場間のシートシャッターレール外れを業者に依頼する前に修理しようと操作電源を切らずに、修理作業を行っていた際に成形場側より製品ロスを運搬していた作業者が、修理作業に気づかずシートシャッター開ボタンを押した為、シートシャッターが上昇し、左腕を巻き込まれ左	47	419	7	100 ～ 299

			下腕を骨折した。				
2017	9	9～ 10	当日は整備作業実施につき、作業を簡便化するため制御盤のドアを人為的に開放していた、攪拌棒の作動スイッチを入れる際、無意識のうちに予備発泡機の開放口に手を置いていたため左手は予備発泡機開放口、右手が作動スイッチという状況になっていた。作動スイッチをオンにしたので攪拌棒が回転を始め、予備発泡機開放口に触れていた左手の人差し指が攪拌棒と予備発泡機の間挟まり巻き込まれ、裂傷及び骨折に至った。	30	162	7	30～ 49
2017	9	17～ 18	当社工場内にて、クリーンルーム内フロア移動中、足を滑らせ床面に転倒。その際、右側頭部を強打し、負傷した。	50	417	2	100 ～ 299
2017	9	21～ 22	成形室において、射出成形機94号機の金型取り付け作業中に、成形機の金型ガイドバー（タイバー）と金型の間で誤って左手（軍手着用）を入れてしまい、バーと金型に左手親指先端が挟まれた。挟まれた際、とっさに手を引いたが間に合わず、軍手内で親指母指が切断された。	45		7	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	関連会社事業所から、当社従業員が当社社用車（ワゴン）を運転し、業務上使用する試験機器数点を当社工場へ搬送中、自動車道上下りインターチェンジ付近に於いて、前方渋滞を確認、減速停止直後、後方よりトラックに追突され、被災した。	30	231	17	10～ 29
2017	9	9～ 10	工場内でシート粉碎作業をしている時、シートを取り上げるために階段を下りず手を伸ばした際、足を滑らし落ちた。右足首をひねった。	50	413	1	50～ 99
2017	9	17～ 18	工場内にある手動切断機を使ってシート状の材料を切断する作業を任されていた。材料が硬いこともあり、力の加減が難しい上、不慣れなこともあり、腕に必要以上の力をかけてしまったと思われる。作業を続けているうちに腕に痛みを感じてきたが、同じ作業を続けてしまった。	50	364	19	10～ 29

2017	9	10～ 11	工場において、プラスチック製品のバリ取り中に、右手でナイフを持ち力を入れた所、ナイフの刃が滑り、右中手指関節を捻挫した。	36	364	19	30～ 49
2017	9	10～ 11	作業場において、ウッドパネルの材料になるサントスローズウッドをサンディングする機械加工中、発生した粉塵を吸い込む集塵機清掃時に、半袖作業服、長ズボン、手袋、帽子、安全靴を着用していたが、木粉が露出していた両腕と顔の皮膚に付着し粉塵暴露が発生した。当日、本人が腕に皮疹を確認したが軽かったので様子見をしていたところ、その後手や足にも拡がり症状が進行し悪化したので後日受診した。	40	522	12	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	弊社工場内において、粉碎機清掃時に座って作業していた所、立ち上がった時に膝を捻って負傷したものである。	56	911	19	1～9
2017	9	14～ 15	射出成形機の整備中、シャフトのフタを開ける為に、カナヅチで同僚がたたき本人が押さえていた所、フタがいきなり開きレバーがはね返り、右人差し指に当たり負傷したものである。	40	529	4	30～ 49
2017	9	11～ 12	プラスチック加工場内の組み立て室において、熱転写作業をしている際に、プラスチックの成品を調整しようとし、左手人差し指を火傷した。	34	166	11	10～ 29
2017	9	20～ 21	当社第一工場成型機のシートつなぎ作業中、鉄管を落として原反台との間に右手を挟んで負傷した。	34	521	4	100 ～ 299
2017	9	5～6	プラスチック工場にて、成形機でプラスチック製品を成形中、不具合により機械停止、金型内に残っている製品を取り除く為に、右手で製品をつかみ左手で操作ボックスの製品突出し金口を押そうとした、その際に間違っ型締金口を押した為、金型が締まり指を挟んでしまった。（安全ドアを開けずに操作してしまった）	22	169	7	10～ 29
2017	10	14～	お客様の納品スペースにて、トラックより製品2パレット内、奥パレットを引き出す際、けん引棒がパレットへきちんと引っかかって	59	379	2	10～

		15	なかった為に、けん引棒が外れてしまい後ろへ転倒。当日途中まで作業できていたが、夜中に激痛と腫れがあり、骨折していた。					29
2017	10	17～ 18	プレス機械で抜き作業が終わり、不良を数える為、製品をテーブルの上に置き、抜き向けたとき、踏み台を踏み外し、約40cm下から落ち、右足踵、骨折した。	54	379		3	50～ 99
2017	10	11～ 12	梯子のない場所から成形機の上に腕の力だけでよじ登ろうとしたところ、右肩に強い負荷が掛かり負傷した。	46	921		19	50～ 99
2017	10	22～ 23	第二工場、製函室にて、ダンボールを組み立てて、ベルトコンベアに流す作業中、ダンボールを置いていたパレットが空いたので、手で持ち上げて片付けようとしたところ、手が滑り左足の上に落ちてしまった。	53	379		4	300 ～ 499
2017	10	10～ 11	弊社工場内で約4mの長物製品を棚から取り出し、近くの出荷場所に2名で運んでいる際に、本人の運ぶタイミングが悪く転んでしまい、その際製品をかばう気持ちから先に左手から地面に着地し、左手を骨折した。	68	611		2	10～ 29
2017	10	9～ 10	会社玄関2階で外出時、玄関ドアを開けたら突風に煽られてふらつき、2階のステップより踏み外し1階の歩道まで転げ落ちた。	39	413		1	10～ 29
2017	10	8～9	工場内で機械（ABS樹脂粉碎機）内部の打ち出し棒の長さ調整を行おうと、一旦機械を停止して、作業に入ろうとしたところ、余力で回転していた右側鋸刃に左手が僅かに触れてしまい、中指と薬指を裂傷したもの。	59	169		7	1～9
2017	10	9～ 10	工場内にて、ポリエチレンの製袋作業をシーラー機にて行っていた時、機械のプレスが下がり右手中指を挟んだ。挟まれた際に指を引き抜こうとし手を引いたところ、指の爪がはがれ、右手中指の骨にヒビが入り負傷した。	54			7	10～ 29
			事業所内において、包装用紐を製造する圧着ロール機のフィルムを通すロールの第2、第3ロールの間に左の指を挟まれた。機械は被					

2017	10	12～ 13	<p>災者が止めた。社長はこの状況では機械を分解しないと指が抜けないと判断し、機械を壊して指をロールから外した。しかし左手の5指ともに第二関節部位辺を骨折負傷した。（当社は、日頃から昼休みには仕事をしないように何度も注意していた。機械については、ロールを入れるときには必ずスイッチを切ってから作業をするように、など常に声をかけ注意をしていたが、仕事熱心な被災者は日頃の注意を守らず作業をしたため事故につながった。）</p>	39	163	7	1～9
2017	10	15～ 16	<p>自社の作業場において、プラスチック板の一辺を斜めにするため、角度をつけながらカンナ機で削っていた。通常も被災時も機械には保護カバーがつけられていたが、角度をつけていくたびに保護具をずらして確認後、作業に移らなければならないところ、その確認を怠り、死角がある状態でプラスチックを移動させてしまい、右親指が削られてしまった。</p>	43	169	8	1～9
2017	10	18～ 19	<p>工場2階、集塵機横の空紙袋置き場にて、計量作業に使用する空袋約10枚を取ろうとしたところ、集塵機横に固定せず立て掛けてあった鉄板（約35kg）が倒れ、左足脛部を負傷した。</p>	55	521	5	10～ 29
2017	10	13～ 14	<p>事業所内テント倉庫にて材料確認のため高さ120cmの棚に上がっていたところ、足が滑りコンクリート床下に転倒した。</p>	27	418	1	50～ 99
2017	10	15～ 16	<p>台風通過後の強風時に事業場内の1F南の大扉前で、干したタオルを回収し、両手に抱えて建物内に戻る途中、足元に置いてあった園芸用のネットが強風にあおられ足に絡まり、前のめりで転倒し負傷した。</p>	59	379	2	50～ 99
2017	10	12～ 13	<p>CT3号機取り出し工程において、自動機非常停止し、復旧作業を行う為、解除ボタンを押した後旋回BOXカバーの上に製品が落ちているのに気付き、自動セレクトスイッチを「自動」から「手動」に切り替え、安全柵内に入り製品を取り除こうとしたところ、取り出しスライドのサーボが原点位置に戻ってきて、取り出アームと旋回BOXの間に体を挟まれ右肩脱臼骨折した。原因は、取り出しアーム</p>	59	169	7	50～ 99

			ムのスライドのサーボが原点に戻った事を確認しないで、安全柵に入ったことである。				
2017	10	17～ 18	本社製造所A棟211・212号機架台上で、作業終了後の片付けをしているとき、掃除機と延長コードリールを階下に下ろす作業中に、両手に荷物を持ち、手摺に掴まっていなかったため、右足を踏み外した際、滑り落ちるように落下した。手摺の支柱に掴まろうとしたが、支柱と側板の内側に小指を挟まれ、右手小指が切断された。	28	413	1	30～ 49
2017	10	14～ 15	得意先へバイクで納品に向かう途中で右折のため信号待ちをしていたところに、積載物を積んだ10tトラックに後方から追突され受傷した。	51	221	17	30～ 49
2017	10	10～ 11	製品検査のための工場内で、製品が入った台車を移動する際に、本人の不注意にて台車の車輪に右足が挟まれ、負傷した。痛みがあり、骨にひびが入っていることが判明した。	51	362	7	50～ 99
2017	10	14～ 15	脚立に乗り、作業台上のウレタンをセットし終えて脚立を降りようとしたところ、足を踏み外し尻餅をつくかたちで落ちてしまった。	52	371	1	50～ 99
2017	10	16～ 17	工場内の切断作業場で樹脂を切断中に残材を切断していた所、不注意に右手を出してしまい、切削刃物で親指を裂傷し、小指の爪のあたりから切断してしまった。	72	169	8	1～9
2017	10	10～ 11	当社工場内にてプラスチック成型業務を行っていた。その際、成型機の抑え部分（プラスチック素材を固定させる部分）に、誤って両腕を挟み、両腕を負傷（火傷等、挟み傷、しびれ）した。	23		7	
2017	10	16～ 17	作業場にてマシニング加工中、ペット板から製品（材料）を外す際に、左手中指第二関節部分を8mm程切る。表面上の傷は治るものの、鈍痛と違和感が残る。傷に触れると痛みがあり、赤みもあった。異物が残っている可能性があったが、レントゲンでは判断できず、経過観察していたが中指全体が炎症で腫れ、メディカルでMRI後、手術を行い、切除した組織を病理検査に出すこととなった。	45	521	8	10～ 29

2017	10	14~ 15	1F作業場の京利製5tプレス機械設置場所でプラスチックフィルムの抜き調整するための試打を行う際に発生した。通常そのテスト用フィルムの長さは10cm以上のものを使用することを徹底していたが、今回は10cm以下の短いものを使用したため型の中に左手人差し指の爪の元より指先までを挟み、創傷する事となった。	71	154	7	30~ 49
2017	10	11~ 12	当社にて業務中に負傷した。NC旋盤で治具を作成中に、NC旋盤内の溶接した鋼材部分が遠心力によって外れて飛び、NC旋盤のカバーを内側から破壊した。その際、破壊されたカバーが誤って手に当たり負傷したもの。	79	151	4	10~ 29
2017	10	10~ 11	当社の東工場において、プラスチック材料を面取り機にてR面取り加工をしていた。手に材料をもって滑らせて押している作業で、気が付かず材料といっしょに刃物の所へ指が接触して負傷した。	42	159	8	30~ 49
2017	10	11~ 12	工場内で原料の乾燥機（ホッパードライヤー）を手で押して移動中、ホッパードライヤーの足のコマが床のコンクリートの境目に引っかかり転倒した際、右足先親指第一関節を挟み負傷した。	29	391	7	10~ 29
2017	10	13~ 14	製袋機械で、原反を送り出しに送り込む作業中に、誤って薬指を挟み負傷した。	46	163	7	100 ~ 299
2017	10	14~ 15	工場内にてプラスチック成形をしている機械から出てくる成形品のバリ取りをしていたら、誤って手が滑って成形品ではなく、ナイフにて左手首を刺した。	24	364	8	10~ 29
2017	11	11~ 12	製袋室で製袋作業の前の原反と次の原反を接続する作業において、作業車が前の原反の最後が所定の位置で止まると思い込みフィルムを掴んだ。ところがフィルムの最後の部分が予想外に所定位置を通過し、ピンチロールに近付いたが手を離すべきところを想定外の事態に気が動転し、そのままフィルムを持ち続け、ピンチロールに挟まれ挫創した。	52	169	7	10~ 29

2017	11	11~ 12	粉砕機の下で作業している時に、粉砕機の上に置いてあったハンマーが振動で落下してきて、右手の小指に落ちてしまった。	24	364	4	10~ 29
2017	11	18~ 19	成形室のプレス機で、製品をセットする為に踏み台に登り、降りる際に左足に痛みが走った。当日、夜間外来で「肉離れの可能性がある」と診断、鎮痛剤を処方される。歩行中も痛みがある状態が続き、後日に再度整形外科を受診し、左足ふくらはぎ肉離れ全治2週間の診断を受け安静療養となる。	41	371	19	100 ~ 299
2017	11	9~ 10	派遣先において、10tトラックの荷台に積まれたゴミの確認を行う為、トラックの梯子を登っている時、次の段へ上がろうと右足を浮かせたところ、左足が滑り転落（高さ約2m）した際、左踵、右足及び左尾てい骨を負傷した。	50	416	3	100 ~ 299
2017	11	14~ 15	当社製品（防塵マスク用フィルター）の製造装置の外観検査作業場で、フィルターの印字外観検査を行っている時に、印字装置にフィルターが詰まった。印字装置のカバーにはインターロック機能が付設されているが、カバーを開けずに右手をカバーの隙間から入れてフィルターを取り除こうとしたところ、右手中指を印字装置に挟まれ損傷した。	60	169	7	50~ 99
2017	11	17~ 18	BACK溶接L工程で、ロボット異常停止の復旧作業時に、設備内へ入る際は進入扉からセーフティープラグを抜いてから入らなければいけないところ、セーフティープラグを抜かず治具正面からL2st裏へ進入した為、センサー異常の復旧後、ロボットが作動してしまいロボットスライドレールのストッパーとロボットとの間に挟まれて、右大腿部を骨折した。	19	154	3	30~ 49
2017	11	7~8	1t位のスリーブ（鋳物製品）をクレーンで工場内を移動するために補佐していた時、右手を壁とスリーブの端に挟んでしまい、右手人差し指第2関節より切断し、中指を骨折した。	37	521	8	50~ 99
			2号棟花卉加工場内にて、上司の指導通りに、スカシユリの茎と葉の間に指を入れ、力を込めてその葉をこそぎ取る作業を続けてい				

2017	11	8~9	て、作業中から痛みがあったがゴム手袋を外せず、休憩時間に確認すると、爪は割れ、出血もしていた。上司からは絆創膏を貼るよう指示があったので、同僚から絆創膏をもらい応急処置して作業を続けたが、激しい痛みが続き、翌日病院を受診した。	34	162	8	10~ 29
2017	11	16~ 17	押出器から出てくる樹脂の中の異物を取り除く金網の交換を行う作業の指導を受けていた。新しい金網を装着後、金網をセットしているプレートを油圧ポンプで下げている時にプレート下部より気化した樹脂が噴き出し、その瞬間に樹脂に引火し、その火が顔面に当たり火傷を負った。	27	169	11	50~ 99
2017	11	15~ 16	工場において、プラスチック製品のバリ取り中に左手でナイフを持ち作業していたところ、左手に力を入れたところ、ナイフの刃が滑り、左手関節を捻挫した。	36	364	19	30~ 49
2017	11	11~ 12	工場内で、機械装置のそばで生産を見守っている時に、上昇するパンチ機内に残された製品を取り出そうと、咄嗟に手を入れたところ、間に合わず、右腕を挟まれてしまったものである。	35	169	7	10~ 29
2017	11	17~ 18	地下ポンプ室内に保管していた浄化槽点検用の機材（約10kg）を運ぶため片手で持ち上げた際、重みで体勢を崩したため、反対の手ですぐ側にある水槽室入口のドアに手をかけたところ、ドアが開きそのまま水槽（縦・横約2m、深さ約2m、水深約1m）に落ちたものである。水槽に落ちる際、水槽の縁で上半身を打ち負傷したものである。	47	391	1	10~ 29
2017	11	13~ 14	製袋3号機縦水冷バーで、水冷バー下へテフロンシートの貼り付け作業中、上の水冷バーと下のゴム台の間で、2人作業を行っていて、1人の作業が完了していなかった。2人でそれぞれの作業をしており、1人が反操作側での作業を行っていた為に、目視で確認が出来ず、誤ってスタートをしてしまった為、指先を挟まれた。	36	169	7	100 ~ 299
2017	12	15~16	工場内にて、年末年始休暇前の大掃除で、窓拭きを上に登り行い、終了後、下に降りようとした際に窓の前にある棒に足が引っかか	49	418	1	100 ~

			り、そのままお尻から落下し、腰を圧迫骨折した。				299
2017	12	5~6	被災者は、当社第二工場9号パンチャー機搬送ラインにて製品検査作業を行っていた。その際に、コンベアー駆動の軸とベルトが空回りをしていて製品が搬送されなかったため、集積された製品を取り出そうとして左手を伸ばしたとき、裁断後の製品を集積している集積テーブルが下降し、集積テーブルとコンベアーの間に左手が挟まってしまい負傷した。	23	229	7	100 ~ 299
2017	12	5~6	夜勤終了作業を行っていた際、トーピードくり抜き作業（ボールで、付着した餅状のプラスチックをはぎ取る作業）で、誤ってボールが滑り、胸に当たり受傷したものである。	43	364	6	10~ 29
2017	12	13~14	商品の測定作業を終え、テストにかけた商品をゴミ箱に捨てようと椅子から立った際、眩暈を起こし、右隣にある別の作業台に右前腕を強打し受傷した。	34	419	3	—
2017	12	14~15	作業台横に設置しているエアホースに足を引っ掛けてしまい転倒し、骨折した。	52	379	2	50~ 99
2017	12	9~10	工場の成形室にて、4号機の機械調整（リーク検査機の高さ調整）を行うため、成形機に上って作業を行った。作業が終了し、成形機から下りようとした際、足元がふらつき105cmの高さから落下し、右足大腿骨を骨折した。	42	169	1	100 ~ 299
2017	12	20~21	押出課7棟製造現場で、樹脂製品の生産をスタート中に、製品にねじれが発生したため、引取機の手前でねじれを矯正していたときに、作業着の袖が引取機に挟まれ、同時に右手も巻き込まれ、右手中指と人差し指が潰れた。	39	169	7	50~ 99
2017	12	8~9	停止中の機械（金型）の駒替え作業をするために、渡し板を掛けようとしたときに、機械油で滑り、渡し板と一緒に、2階から1階に転落した。	50	416	1	30~ 49
			第4工場FS-9号機のプレコーターでシャットダウンのため、HRサー				

2017	12	5~6	ビスタククのフィルターを交換していたとき、隣に設置されたプライマーサービスタンク付近で音がしたため振り返ったところ、プライマーサービスタンク上部が発火しており、その火に触れて火傷を負った。	37	519	11	100 ~ 299
2017	12	5~6	派遣先構内の空箱置場にて、空箱整理の作業中、派遣先従業員の運転するフォークリフトが、被災者に向かって後退し接触した。その際、被災者の右足に後輪タイヤが乗り上げ受傷した。派遣先従業員がバックする際、後ろを確認したときに右側にいた被災者が、気がつくやうに左側に移動しており接触した。	38	222	6	100 ~ 299
2017	12	14~15	当社第3シート工場7号機の巻取機のベルト交換が完了し、カバー取り付け後、カッターアーム油圧シリンダーと棒を固定しているブラケットが外れて位置がおかしくなった。ブラケットを留めるためにカッターアームを持ち上げた際、ターレット部のガイドロールに胸部が圧迫されて負傷した。	24	169	7	100 ~ 299
2017	12	14~15	8名で倉庫の棚卸し作業をしていた際、倉庫の棚は3段で、2段目の高さ約1mのステップを用いて目視でカウントする。その際にステップから足を滑らせ、後ろ向きに転倒し、背中と腰を打った（頭部と首は打っていない）。	41	371	1	100 ~ 299
2017	12	11~12	工場内にて、ペレタイザー（樹脂カッター）の回転刃を交換するため、回転刃をクレーで上げて下ろす際に、回転刃が落ちてきたので慌てて避けたとき、左足を挫いて小指を負傷した。	34	417	19	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html